

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

年の頃 50-60 歳と言う感じの女性。英語のトーンからすると米国人或いはカナダ人(カナダ系かな?) 落ち着いた感じで、表情はあまり変化がなく、淡々とした感じ。日本で学校の先生でもしている人かもしれない。聞き取りやすい英語をしゃべる方でした。

2. 通訳ガイド

明るい感じの若い女性。丁寧に対応してくれた。喋り方もゆっくりで分かりやすかった。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

山梨県は山が多いのに、なぜやまなしなの？

山梨県という言い方は非常に興味深い。

と言った趣旨のとんち問題の様な英訳でした。

《自分の解答》

あまり記憶に残っていないが、やまなしと言う下りを充分英訳しきれず、悔いが残った。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 出羽三山
- ② 書院造
- ③ 銭湯

《選択したトピック》

『 銭湯 』

頭の中では②書院造を選ぶつもりで、銀閣寺の東求堂を説明しようと思案を練ったが、実際には、頭よりも口が先に『銭湯』としゃべっていた。

後は口が自然にしゃべってくれたので、あっという間に2分間終了。

《発表した内容》

昔は日本の家には『風呂』がない家が多くあり銭湯に通う人が多かった。

地域のコミュニケーションの場としてなじみの住人と顔を合わせ、一日の疲れをいやす憩いの場であった。

最近ではこの銭湯も非常に少なくなってきており、あまり見かけない。その代わりに『スーパー銭湯』と言う新しい形の銭湯が登場して、複数の風呂をもちジャクジー・サウナなども備わり、Grade up した。スーパー銭湯によっては屋外浴場・温泉もそなわっており温泉リゾートに行かなくても温泉の雰囲気を楽しませてリラックスできる。

などなど、かなり口から出まかせ的な論調で喋ってしまいました。

5. 質疑応答について

NS	銭湯の起源について教えてください。
I	これには江戸時代から銭湯は盛んになり、江戸っ子の中で人気があったと説明→プレゼンの中で説明すべきだったかと悔やまれる
NS	東京都内のスーパー銭湯の例を挙げて欲しい。
I	即座に後樂園のスパを思い出したので、温泉付きの素晴らしいスーパー銭湯として『後樂園』をあげました。
NS	銭湯に行く場合どうしたらよいか。
I	日本の銭湯・温泉では入浴する前に体を洗ってからバスタブに入ることに気をつけて下さい、と伝えました。又男女別々のバスルームになっているとも付け加えました。

6. 試験を終えての感想

朝から気合を入れた割には、淡々と試験が終わってしまい、かえって通訳試験では、あその訳をこうすればよかった、とか訳したらなかったとかいろいろ悔いが残りました。プレゼンは、『書院造』と『銭湯』の選択で一瞬悩みました。『書院造』は銀閣寺→東求堂→禅宗の影響などの展開を思い浮かべましたが、やりやすい『銭湯』を選びましたが、自分の説明の展開に説得力があったのかどうか????です。